

「はだしのゲン」を熱演 人権教育講演会で講談家・神田香織さん



▲講談で「はだしのゲン」を演じる
神田香織さん

『笠岡市人権教育講演会』では、
講談家の神田香織さんが、「はだし
のゲン」（中沢啓二原作）を講談で
演じました。

「はだしのゲン」は、作者の広島
での被爆体験をもとに、戦中戦後の
苦難の時代をたくましく生きるゲン
の姿を描いた漫画で、映画化・テレ

ビドラマ化もされている作品です。

神田さんは、講談が生まれた背景
や自身が講談家を志したきっかけ、
発声法などをユーモアを交えながら
話し、迫力ある話法で演じました。

また、ホワイエでは、実物大の原
爆模型、広島・長崎に原爆を投下し
た爆撃機B-29の模型、「笠岡市人

参加者からの声

- ★戦争は絶対いけない。私たちが声を
出さないといけないと思いました。
- ★戦争は過去形ではなく現在も続いて
いる。忘れてはいけないこと。
- ★平和と人権はひとつ根っこであると思
った。
- ★今の平和をありがたく思います。
- ★土屋さんの話、心打たれました。
- ★中学生の発表がとてもよかったです。
- ★初めて講談を聞き、その迫力に圧倒
されました。



▲原爆の実物大模型



▲ホワイエの展示

権フォトコンテスト」入賞作品、市
内全小学校参加の「人権の花写真
展」、市内小中学校児童・生徒によ
る「平和のメッセージ」、「世界人
権宣言パネル」などが展示されまし
た。

戦争の残酷さを伝える展示などを
見入り、平和への決意を新たにす
る人の姿が多数見られました。

おもしろ工作教室

7月30日、吉田文化会館でおもしろ
工作教室が開催されました。

この行事は、地域に根ざした多様
な活動の機会を提供するとともに、
多くの友達とのふれあいを通し、人
権意識を高めることを目的に、山鳩
子ども会育成会、吉田小学校、吉田
文化会館が合同で開催したものです。
約140人の子どもたちが参加し、
プラバンづくり、べっこうあめづく
り、バルーンアート、紙工作などに
挑戦しました。新吉中学校の生徒の
みなさんもボランティアで工作指導
に協力してくれました。



▶べっこうあめづくりに熱心に取り組む子どもたち



▶バルーンアートを楽しむ子どもたち